様式３(2015.06改)

作成日　平成30年3月29日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2397600061
事業所名	グループホーム「ポプラ」

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	「伊福の秋まつり」や「はだか祭り」、朝市や運動会に出かけたり、雑巾を縫って学校に寄付したりと地域交流に努めている。5月開催の「地域住民説明会」では寸劇や紙芝居、認知症についての研修会を行い、介護相談では地域住民の介護お困りごとの話を聞いたり、介護保険の相談に応じた。夏祭りやクリスマス会は区内回覧板で来所を呼びかけ、手芸ボランティアの訪問による古布での作品作りは利用者の楽しみの一つとなり、地域に開かれたホームとなっている。	○
重点項目②		評価
	運営推進会議は年に6回、市役所高齢福祉課、地域包括支援センター職員、区長、民生委員、家族代表、利用者、法人本部等の参加を得て開かれ、事業所の様子を伝えたり、イベントや活動報告をしている。初回5月には会議の主旨や意見交換によって施設の質を高めていくことの重要性を説明した。施設の方針、サービスや取り組み内容についての質問には都度丁寧に説明しており、よりホームの実状の理解につながる内容となっている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	生活保護利用の方もあり、書類提出等で市役所を訪問しており、市関係機関とは何かあれば相談できる関係が構築されており、問題が解決した実例もある。グループホーム連絡会や4月より開催されるグループホーム連絡協議会にも参加を予定しており、同業者との交流や情報交換できる貴重な場と位置付けている。委員会による施設内研修が主だが、市主催の研修にも参加している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	意見や要望は家族の面会時に聞くようにし、状態の変化時は直ぐに電話連絡している。家族アンケートには感謝や素晴らしいといった言葉があり「駐車場がもう少し広かったら･･･。」という意見があるが苦情の言葉はなく満足感が伺える。毎月発行のホーム便り「ポプラ新聞」は挨拶とともにナースからの一言や季節の豆知識、行事の様子や予定が掲載されている。顔写真には個人情報にも配慮した対応をしている。今後、イベント時に参加いただいた家族様に、時間を設けていただき、茶話会を開催していく計画がある。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確　認　事　項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	―	―	―	―	―	―	―	―	○		